

## 8 公民館職員研修会

### (1) 趣 旨

公民館の地域社会における役割を明確にし、公民館職員としての使命を自覚するとともに、公民館活動上の基礎的知識技能を習得する。

### (2) 期日・会場・参加者数

- ① 期 日 昭和51年6月15日～6月19日
- ② 会 場 海浜青年の家
- ③ 参加者 公民館職員（経験2年未満を原則とする）

### (3) 講師、助言者 66名

毎日新聞社福島支局長 叶 公  
小野町公民館長 田村 碩信  
県教育庁社会教育課長 佐藤 利三郎  
同 課員 海浜青年の家職員

### (4) 研修内容

- ① 研究主題  
「公民館の役割と公民館事業の運営について」
- ② 講 義  
ア 本県社会教育の振興方策  
イ 社会教育関係法規  
ウ 公民館主事の専門性と役割  
エ 学級講座の開設と運営  
カ 会議運営の技術  
キ 公民館広報紙の作成
- ③ 演習、実技  
ア レクリエーション実技  
イ 野外活動の実際  
ウ 視聴覚機器の利用

## 9 公民館管理運営研究協議会

### (1) 趣 旨

本県社会教育の課題と公民館の今日的役割を明確にするとともに、管理職としての使命を自覚し、公民館の管理運営に必要な専門的事項につき研究協議する。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和51年10月13日～10月14日
- ② 会 場 婦人会館
- ③ 参加者 県内市町村公民館長、社会教育課長

### (3) 講師、助言者

- ① 講 師  
福島県立福島女子高等学校長 高橋 哲夫
- ② 助 言 者  
社会教育課長、同主幹、主任社会教育主事

### (4) 研修内容

- ① 講 義  
立県百年と先人の偉業をしのぶ
- ② 研究協議  
ア 本県社会教育の現状と振興方策  
イ 公民館管理運営の諸問題  
ウ 福島県公民館の設置運営の基準

## 10 福島県視聴覚ライブラリー研究大会

### (1) 趣 旨

教育の近代化が進むにつれて、視聴覚教育の重要性がさげられる今日、関係者が一堂に会し、学習活動における教材、教具の効果的な活用に関し、教育施設としての地域ライブラリーの充実方策と管理運営等を研究し、視聴覚教育の充実振興を図る。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和51年12月2日～3日
- ② 会 場 郡山市立中央公民館
- ③ 参加者 市町村教育委員会関係者、公民館関係者、地域視聴覚ライブラリー関係者 35名

### (3) 講師、助言者

- ① 講 師 全国視聴覚教育連盟専門委員  
内海 貞太郎
- ② 助言者 県教育庁社会教育主事

### (4) 研究内容

- ① 講 義  
「地域視聴覚ライブラリーの振興策について」
- ② 研究協議  
「地域視聴覚ライブラリーの充実方策について」  
「地域視聴覚ライブラリーの公立化促進について」

## 11 福島県視聴覚教育指導者研修会

### (1) 趣 旨

「視聴覚教育研修カリキュラムの標準」に基づき、視聴覚教育指導者（中級）の養成を図るため、社会教育に関係している指導者に対し、視聴覚機材の利用や教材の作成とその効率的な利用の進め方について専門的な研修を行う。

### (2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和51年10月5日～8日
- ② 会 場 福島県婦人会館
- ③ 参加者 市町村教育委員会社会教育主事及び職員、公民館主事、視聴覚ライブラリー・少年自然の家・図書館・海浜青年の家等の職員で、視聴覚教育の指導的立場にある者 26名

### (3) 講 師

- ① 講 師 福島大学教育学部教授 島田 啓二  
NHK福島放送局放送部 斎藤 洋一  
福島県教育センター指導主事 阿部 昭生  
福島県教育庁社会教育課  
社会教育主事 佐々木正則  
" 主査 佐藤 義寛  
県北教育事務所社会教育主事 村上 武

### (4) 研修内容

- ① 講 義  
「OHPの効用について」  
「VTRの構造と特性について」  
「視聴覚機具、機材の利用と教育的効用について」  
「生活と放送」